

法学セミナー

HOUGAKU Seminar

 日本評論社

2019年2月1日発行 毎月1回1日発行 通巻769号
1956(昭和31)年4月12日 第3種郵便認可 Vol.64-02
ISSN 0439-3295

[目次]

Contents

[特集]

最高裁判例から 過失犯論を 問い合わせ直す

序論	山本紘之	006
——近時の最高裁判例が過失犯論に投げかけたもの			
過失不作為犯における 作為義務の意義	萩野貴史	011
——明石砂浜陥没事件第2次上告審決定を手がかりとして			
渋谷温泉施設ガス爆発事件に 現れた予見可能性の問題	古川伸彦	017
——「因果関係の基本的部分」テーゼの克服に向けて			
明石歩道橋事件	谷井悟司	024
——過失の共同正犯とは何だったのか			
JR西日本福知山線事故と法人处罚	仲道祐樹	031

2019
02

〔法学者の本棚〕

- 普遍的な表現をめざして 春日 勉
大江健三郎『あいまいな日本の私』

〔最新判例演習室〕

- 憲法／瀬口晶子 124
行政法／桑原勇進 125
民法／松尾 弘 126
商法／鳥山恭一 127
民事訴訟法／川嶋四郎 128
刑法／豊田兼彦 129
刑事訴訟法／高倉新喜 130
労働法／山下 昇 131

〔ロー・アングル〕

- 時計、青いバラ、そして、コーポレート・ガバナンス 仮屋広郷 037
——機械論に覆われる世界
- 倒産法と事業再生 上(全2回)
倒産法の歴史と実例から考察するわが国の事業再生
- I はじめに 藤本利一 041
—— 寛容な債権者と誠実な債務者が結ぐ物語
- II 倒産法の歴史から見たわが国の事業再生 園尾隆司 042
- III 万田発酵の事業再生 松浦良紀、岩田卓士、軸丸欣哉 052
- 第3回日弁連公法系訴訟サマースクール2(全3回)
公法系訴訟への対応力を上げる(1)
- 行政訴訟における主張構成の方法 野呂 充、中川丈久、山本哲朗、岩本安昭 061
- 裁判所は人生劇場23 北尾トロ 001
悩ましき銃刀法

〔ライブラリー〕

- 新刊ガイド 133

〔ロー・クラス〕

- アメリカ憲法判例の最前線 11 小竹 聰 072
Whole Woman's Health v. Hellerstedt, 136 S. Ct. 2292 (2016) 判決
- 統治機構論探訪 22 赤坂幸一 078
最高裁判例の形成過程(5)
- 債権法講義[各論] 31 河上正二 085
賃貸借一般(その3)
- 現代刑法の理論と実務——総論 11 松宮孝明 094
狭義の共犯
- 応用刑法II—各論 9 大塚裕史 105
強盗罪における「強取」の意義
- 伝聞法則に強くなる 11 後藤 昭 116
共同被告人と伝聞法則

〔コラム〕

- 司法書士の生活と意見 071
弁護士事件ファイル 123
判事補メモ 077